

CASBEE®熊本《改修》【性能表示】

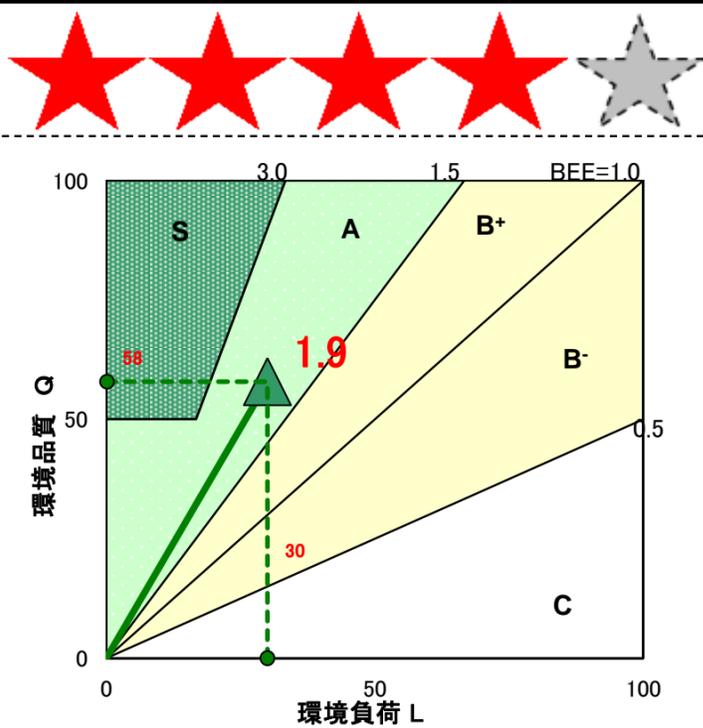
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	熊本大学(医病)管理棟	階数	地下1F地上3F
建設地	熊本県熊本市	構造	RC造
用途地域	第二種住居、近隣商業、商業、準防	平均居住人員	494 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	事務所	改修後の想定使用年数	20 年
改修竣工年月	2015年3月 予定	改修工事期間	2014年9月5日～2015年3月31日
新築時竣工年月	1980年3月	評価の実施日	2014年10月10日
敷地面積	84,966 m ²	作成者	株式会社 教育施設研所
建築面積	1,625 m ²	確認日	2014年10月10日
延床面積	5,189 m ²	確認者	熊大医附病 馬場政秀
改修目的	用途変更	現在までの主な改修履歴	なし



改修対象項目	躯体 外装 内装 設備	補強 全面吹替 全面やりかえ 全面やりかえ
--------	----------------------	--------------------------------

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



環境品質 Q

環境負荷 L

BEE = 1.9

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)



排出率

68%

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価		評価点
		90
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	評価点	100.0
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	評価点	72.5
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	評価点	82.5
【重点事項4】 循環型社会の実現	評価点	92.8

■ 熊本県重点評価基準

判定値 (評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

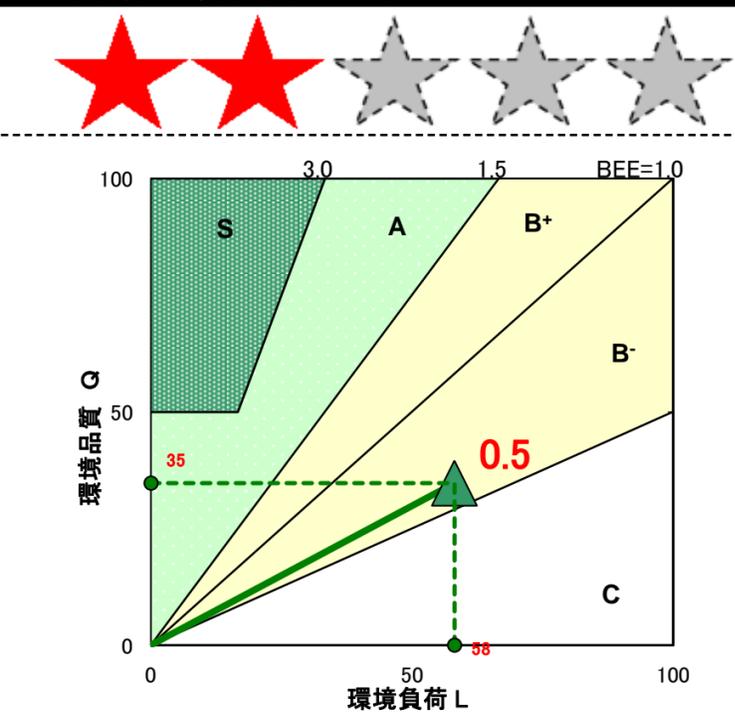
※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®熊本《改修》【性能表示】

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	熊本大学外来臨床研究棟	階数	地下1F地上3F	
建設地	熊本県熊本市	構造	RC造	
用途地域	第二種住居、近隣商業、商業、準防	平均居住人員	770 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,250 時間/年	
建物用途	病院	評価の実施日	2014年10月10日	
新築時竣工年月	1980年3月	作成者	〇〇〇	
経過年数	34 年	確認日	2014年10月10日	
敷地面積	84,966 m ²	確認者	〇〇〇	
建築面積	1,611 m ²	現在までの主な改修履歴	なし	
延床面積	4,917 m ²			

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



BEE = 0.5

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★

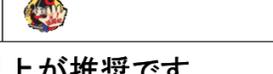
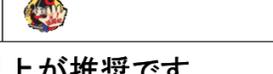
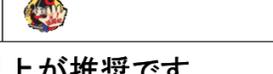
■ ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)



排出率

96%

3 熊本県重点評価結果

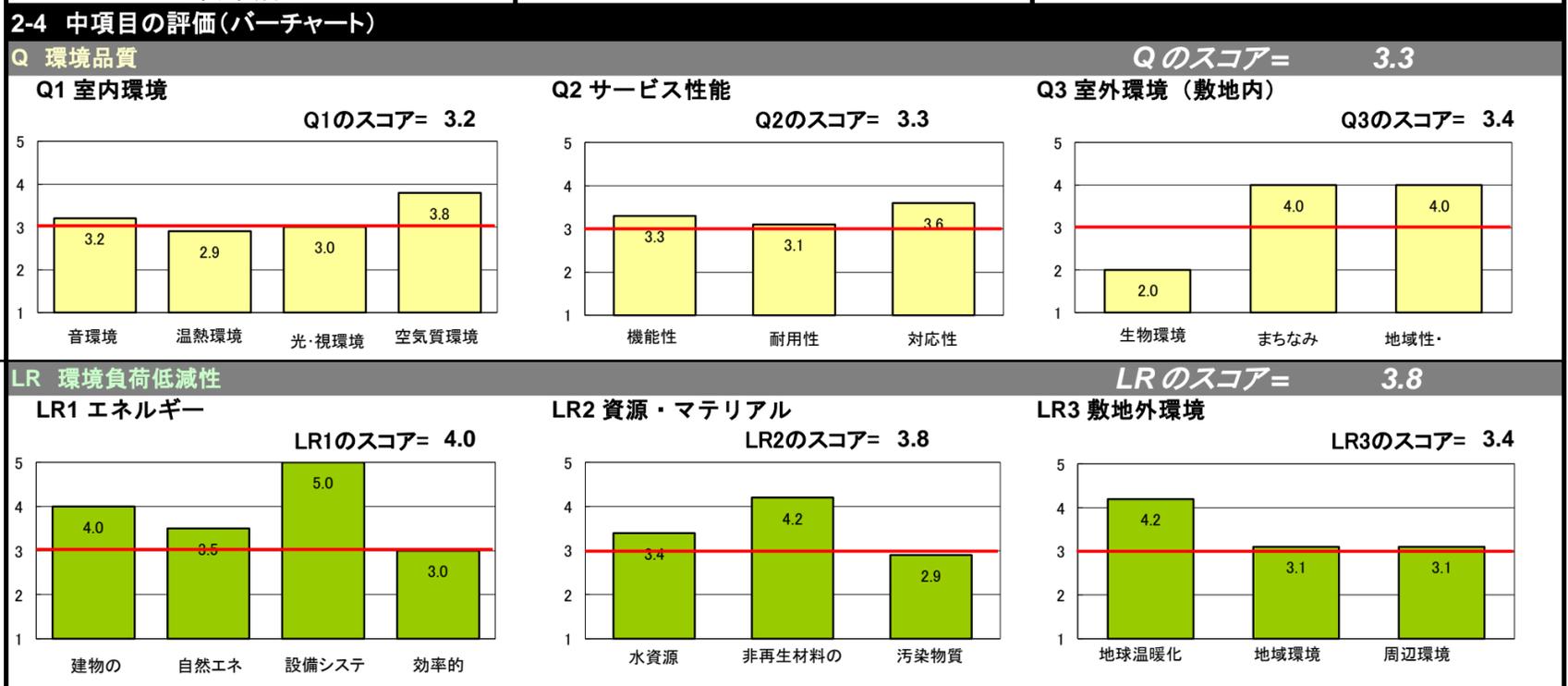
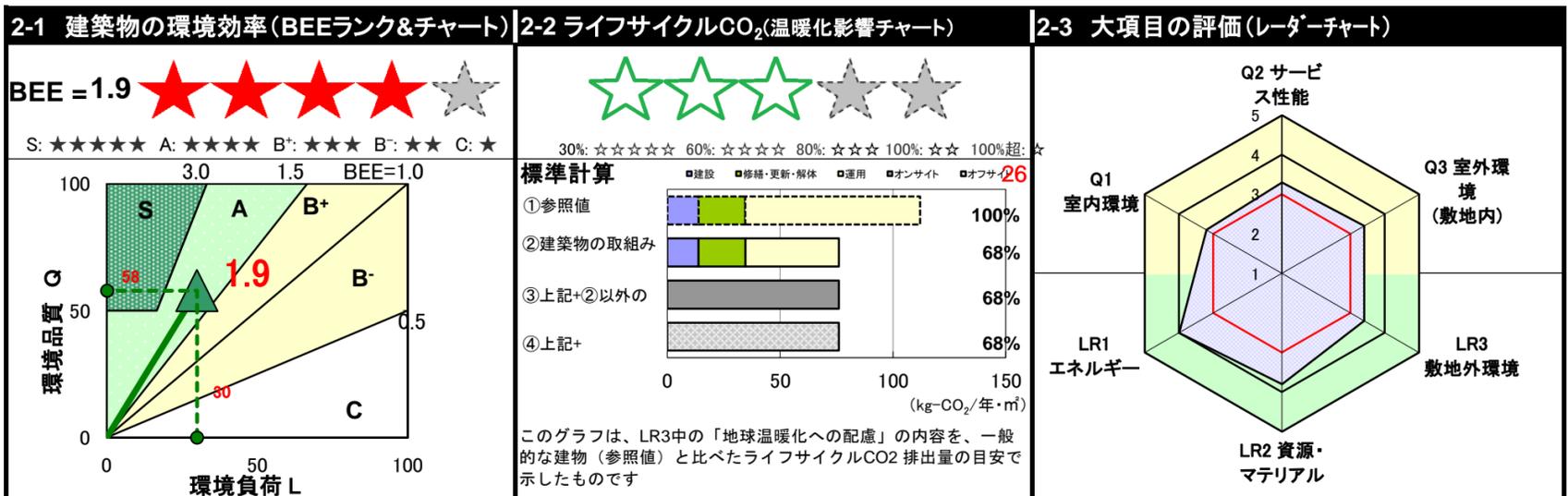
重点事項総合評価		評価点												
		61												
<p>【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進</p> <p>【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現</p> <p>【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全</p> <p>【重点事項4】 循環型社会の実現</p>	<p>評価点</p> <p>75.0</p> <p>56.6</p> <p>45.0</p> <p>53.5</p>	<p>■ 熊本県重点評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値 (評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価点は、100点以上が推奨です。</p>	判定値 (評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値 (評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														

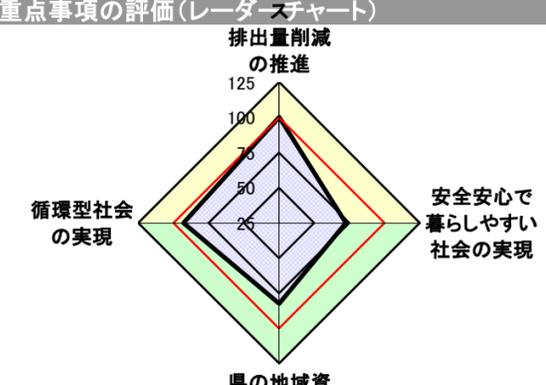
CASBEE®熊本 《改修》【評価結果】

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版) 2010年版

■使用評価ソフト: CASBEE-RNb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要				1-2 外観		
建物名称	熊本大学(医病)管理棟	階数	地下1F地上3F			
建設地	熊本県熊本市	構造	RC造			
用途地域	第二種住居、近隣商業、商業、準防	平均居住人員	494 人			
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,000 時間/年			
建物用途	事務所	改修後の想定使用年数	20 年			
改修竣工年月	2015年3月 予定	改修工事期間	2014年9月5日~2015年3月31日			
新築時竣工年月	1980年3月	評価の実施日	2014年10月10日			
敷地面積	84,966 m ²	作成者	株式会社 教育施設研所			
建築面積	1,625 m ²	確認日	2014年10月10日			
延床面積	5,189 m ²	確認者	熊本医附病 馬場政秀			
改修目的	用途変更	現在までの主な改修履歴	なし	改修対象項目	躯体 外装 内装 設備	補強 全面吹替 全面やりかえ 全面やりかえ



3 熊本県重点評価結果	
<p>重点事項総合評価</p> <p>評価点 = 90</p>	<p>重点事項の評価(レーダーチャート)</p> 
<p>重点事項1: 温室効果ガス排出削減の推進</p> <p>評価点 = 100</p>	<p>重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現</p> <p>評価点 = 73</p>
<p>重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全</p> <p>評価点 = 83</p>	<p>重点事項4: 循環型社会の実現</p> <p>評価点 = 93</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®熊本 《改修》【評価結果】

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版)2010年版

■使用評価ソフト: CASBEE-RNb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	熊本大学外来臨床研究棟	階数	地下1F地上3F
建設地	熊本県熊本市	構造	RC造
用途地域	第二種住居、近隣商業、商業、準防	平均居住人員	770 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,250 時間/年
建物用途	病院,	評価の実施日	2014年10月10日
新築時竣工年月	1980年3月	作成者	〇〇〇
経過年数	34 年	確認日	2014年10月10日
敷地面積	84,966 m ²	確認者	〇〇〇
建築面積	1,611 m ²	現在までの主な改修履歴	なし
延床面積	4,917 m ²		



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算 68

①参照値	100%
②建築物の取組み	96%
③上記+②以外の	96%
④上記+	96%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	3.0
温熱環境	2.7
光・視環境	3.0
空気質環境	2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

機能性	3.0
耐用性	1.8
対応性	2.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.7

生物環境	2.0
まちなみ	1.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

建物の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.0
効率的	1.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

水資源	2.2
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

地球温暖化	3.1
地域環境	2.6
周辺環境	2.5

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 **評価点 = 61**

重点事項 1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 75	重点事項 2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 57
重点事項 3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 45	重点事項 4: 循環型社会の実現 評価点 = 54

重点事項の評価(レーダースタート)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE® 熊本《改修》【評価結果】

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版) 2010年版(改修前後の比較) ■使用評価ソフト: CASBEE-RNb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		改修後		改修の概要	
改修前	熊本大学外来臨床研究棟 病院, 新築時の竣工年 1980年3月 建築面積 1,611.08 m ² 延床面積 4,917.28 m ² 階数 地下1F地上3F 構造 RC造 平均居住人員 770 人 年間使用時間 2250 時間/年	改修後	熊本大学(医病)管理棟 事務所, 改修竣工年 2015年3月 建築面積 1,624.77 m ² 延床面積 5,189.08 m ² 階数 地下1F地上3F 構造 RC造 平均居住人員 494 人 年間使用時間 2000 時間/年	改修の概要	現在までの主な改修履歴 なし 改修後の想定使用年数 20 年 改修目的 用途変更 改修対象項目 躯体 外装 内装 設備 改修工事期間 2014年9月5日~2015年3月31日

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

改修前 BEE= 0.5 ★★☆☆☆☆
改修後 BEE= 1.9 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境品質 G
環境負荷 L
△BEE= 1.9-0.5= 1.4

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

改修前= ☆☆☆☆☆
改修後= ☆☆☆☆☆

標準計算

③建築物の取組み以外のオンサイト手法	改修前	100%
	改修後	55%
④上記+	改修前	100%
	改修後	55%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能
Q1 室内環境
Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー
LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 2.3→3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7→3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.4→3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7→3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 2.6→3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.7→4.0

LR2 資源・マテリアル

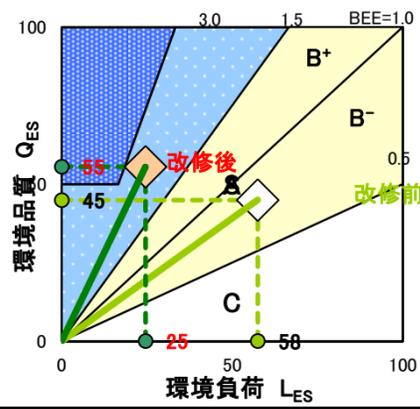
LR2のスコア= 2.5→3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7→3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネ改修、室内環境改善、外装の更新、高耐久化、情報化対応、すべてについて機能が向上している。	その他 南面日照量の抑制
Q1 室内環境	執務室としての音環境、温熱環境、光環境、の向上 バリアフリー的な配慮	Q3 室外環境(敷地内) 病院敷地にある管理棟としての外観の配慮 バリアフリー的な配慮
LR1 エネルギー	熱負荷の抑制、設備の高効率化	LR3 敷地外環境 騒音振動悪臭の防止
Q2 サービス性能	執務室としての機能性、耐用性、信頼性の向上 バリアフリー的な配慮	
LR2 資源・マテリアル	非再生性資源の使用量の削減	

4 BEE_{ES} による省エネルギー改修評価



$$BEE_{ES} = \frac{\text{省エネ改修評価における建築物の環境品質 } Q_{ES}}{\text{省エネ改修評価における建築物の環境負荷 } L_{ES}}$$

$$= \frac{25 \times (SQ1 - 1)}{25 \times (5 - SLR1)}$$

$$\Delta BEE_{ES} = 1.5$$

$$\text{改修前 } BEE_{ES} = \frac{55}{25} = 2.3$$

$$\text{改修前 } BEE_{BS} = \frac{45}{58} = 0.8$$

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE[®]熊本《改修》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

省エネ改修、室内環境改善、外装の更新、高耐久化、情報化対応、すべてについて機能が向上している。

Q1 室内環境

執務室としての音環境、温熱環境、光環境、の向上
バリアフリー的な配慮

Q2 円ービス性能

執務室としての機能性、耐用性、信頼性の向上
バリアフリー的な配慮

Q3 室外環境(敷地内)

病院敷地にある管理棟としての外観的配慮
バリアフリー的な配慮

LR1 ㊦ネルギー

熱負荷の抑制、設備の高効率化

LR2 資源・マテリアル

非再生性資源の使用量の削減

LR3 敷地外環境

騒音振動悪臭の防止

その他

南面日照量の抑制

CASBEE-改修(簡易版)2010年版
熊本大学(医療)管理棟

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版)2010年版
 ■評価ソフト: CASBEE-RNb_2010(v.1.2)

④スコア表示シート

配慮項目 []内: CASBEE-既存の項目名	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分				住居・宿泊部分				全体	
		改修前	改修後	重み係数		改修前	改修後	重み係数		改修前	改修後
Q 建築物の環境品質										2.3	3.3
Q1 室内環境				0.4	0.4					2.7	3.2
1 音環境		3.0	3.2	0.15	0.16	-	-			3.0	3.2
1.1 騒音		3.0	4.0	0.40	0.40	-	-				
1 室内騒音レベル	天井裏まで達せしめる界壁にて室を区画	3.0	4.0	1.00	1.00	-	-				
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-				
1.2 遮音		3.0	2.2	0.40	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能		-	1.0	-	0.60	-	-				
2 界壁遮音性能	要所に遮音構造を設置	3.0	4.0	0.40	0.40	-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	0.60	-	-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-				
1.3 吸音	要所にて床 天井に吸音材を使用	3.0	4.0	0.20	0.20	-	-				
2 温熱環境		2.7	2.9	0.35	0.36	-	-			2.7	2.9
2.1 室温制御		2.5	3.6	0.50	0.50	-	-				
1 室温		3.0	3.0	0.38	0.38	-	-				
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	-	-				
3 外皮性能	窓システム U=2.9 外壁 U=0.8	1.0	4.0	0.25	0.25	-	-				
4 ゾーン別制御性	ゾーニング毎に冷暖切替可能な個別空調方	3.0	4.0	0.38	0.38	-	-				
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-				
6 個別制御		-	-	-	-	-	-				
7 時間外空調		-	-	-	-	-	-				
8 監視システム		-	-	-	-	-	-				
2.2 湿度制御		3.0	1.0	0.20	0.20	-	-				
2.3 空調方式		3.0	3.0	0.30	0.30	-	-				
1 上下温度差		-	3.0	-	0.50	-	-				
2 平均気流速度		3.0	3.0	1.00	0.50	-	-				
3 光・視環境		3.0	3.0	0.25	0.22	-	-			3.0	3.0
3.1 昼光利用		3.0	3.0	0.30	0.35	-	-				
1 昼光率		3.0	3.0	0.60	0.60	-	-				
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-				
3 昼光利用設備		3.0	3.0	0.40	0.40	-	-				
3.2 グレア対策		3.0	3.0	0.30	0.35	-	-				
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-				
2 昼光制御		3.0	3.0	1.00	1.00	-	-				
3 映り込み対策		-	-	-	-	-	-				
3.3 照度		3.0	-	0.15	-	-	-				
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.25	0.29	-	-				
4 空気環境		2.5	3.8	0.25	0.26	-	-			2.5	3.8
4.1 発生源対策		2.6	5.0	0.50	0.50	-	-				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に採用	3.0	5.0	0.33	1.00	-	-				
2 アスベスト対策		2.0	-	0.33	-	-	-				
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-				
4 レジオネラ対策		3.0	-	0.33	-	-	-				
4.2 換気		2.0	2.3	0.30	0.30	-	-				
1 換気量		3.0	3.0	0.50	0.33	-	-				
2 自然換気性能		-	3.0	-	0.33	-	-				
3 取り入れ外気への配慮		1.0	1.0	0.50	0.33	-	-				
4 給気計画		-	-	-	-	-	-				
4.3 運用管理		3.0	3.0	0.20	0.20	-	-				
1 CO ₂ の監視		-	1.0	-	0.50	-	-				
2 喫煙の制御	全館禁煙	3.0	5.0	1.00	0.50	-	-				
Q2 サービス性能				0.3	0.3					2.4	3.3
1 機能性		3.0	3.3	0.40	0.40	-	-			3.0	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	2.6	0.40	0.40	-	-				
1 広さ・収納性		-	3.0	-	0.33	-	-				
2 高度情報通信設備対応		-	2.0	-	0.33	-	-				
3 バリアフリー計画		3.0	3.0	1.00	0.33	-	-				
1.2 心理性・快適性		3.0	3.6	0.30	0.30	-	-				
1 広さ感・景観	天井高2.7m	-	4.0	-	0.33	-	-				
2 リフレッシュスペース		-	3.0	-	0.33	-	-				
3 内装計画	機能、コンセプトを明確にしパースによる内装	3.0	4.0	1.00	0.33	-	-				
1.3 維持管理		3.0	4.0	0.30	0.30	-	-				
1 メンテナンスに配慮した設計[総合的な取り組み]	防汚性材料の使用、段差の排除	3.0	5.0	0.50	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保 [清掃管理業務]		3.0	3.0	0.30	0.50	-	-				
3 衛生管理業務		3.0	-	0.20	-	-	-				
2 耐用性・信頼性		1.8	3.1	0.31	0.31	-	-			1.8	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	3.0	0.25	0.48	-	-				
1 耐震性		3.0	3.0	0.80	0.80	-	-				
2 免震制振性能		3.0	3.0	0.20	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		2.0	3.0	0.25	0.33	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	3.0	0.25	0.23	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	3.0	0.25	0.23	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	3.0	-	0.09	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	3.0	0.09	0.08	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	3.0	0.16	0.15	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		1.0	3.0	0.25	0.23	-	-				

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 熊本大学(医療)管理棟

■評価ソフト: CASBEE-RNb_2010(v.1.2)_kmt2011(v.1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《改修》2011年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点	89.6
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				100.0	0.40	40.00
Q1-2.1.3	外皮性能	4.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.5	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				72.5	0.20	14.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	4.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	4.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.30			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.20			
④ 循環型社会の実現				92.8	0.20	18.56
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.43			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.00			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	5.0	0.14			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.21			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	5.0	0.21			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 熊本大学外来臨床研究棟

■評価ソフト: CASBEE-RNb_2010(v.1.2)_kmt2011(v.1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《改修》2011年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点	61.0
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				75.0	0.40	30.00
Q1-2.1.3	外皮性能	1.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				56.6	0.20	11.32
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.00			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.33			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.20			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.27			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.20			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				45.0	0.20	9.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	1.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.30			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.20			
④ 循環型社会の実現				53.5	0.20	10.70
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.0	0.43			
Q2-3	対応性・更新性	2.4	0.00			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.14			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.21			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.21			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数